

| 会 議 録 | | | | |
|---|----------------|---|--------|----------------------|
| 平成18年度第6回 社会教育委員の会議 | 日 時 | 平成18年10月23日(月) 午後2時00分～4時00分 | 場 所 | 小金井市役所第二庁舎 801会議室 |
| 事務局 | 小金井市教育委員会生涯学習課 | | | |
| 出席者 | 委員 | 福島議長、彦坂副議長、井土、兼森、君塚、堀井、藤川、田中、武田各委員 (欠席) 柿崎委員 | | |
| | その他 | 石川教育部次長、伊藤生涯学習課長補佐、中嶋公民館長、古屋図書館長、 林体育課長、 | | |
| | 事務局 | 木村生涯学習係主事、宇佐見非常勤嘱託職員 | | |
| 傍聴の可否 | ◎可・一部不可・不可 | | 傍聴者数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合の理由 | | | | |
| 次 第 | | | | |
| 1. 報告事項 (1) 平成18年度都市社連協第5ブロック研修会の報告について (2) 第44回東京都公民館研究大会について (3) その他 2. 協議事項 (1) 管外視察研修について (2) その他 | | | | |
| 1. 報告事項 (1) 平成18年度都市社連協第5ブロック研修会の報告について (福島議長) 〔郷土の森博物館の成り立ちや、年間30万人が訪れ体験学習などが行なわれているなど 現況説明があった〕 〔グループに分かれて行なわれた「2007年問題について」の報告内容〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各市とも活発とまでは行かず、印象としては高齢者学級の延長にある。 その点、小金井市は比較的活発である。 ・ 小金井市の取り組み状況として、団塊の世代前後(55歳～65歳)を対象に、地域参加のための講座を平成17年度から実施していることを説明した。 ・ 武蔵野市では「お父さんお帰りなさいパーティー」を設けて7年目に至り、今年度は43人が参加している。発表したほど順調ではないと、問題があることも示唆していた。 ・ 三鷹市では模索している段階です。 ・ 狛江市では呼びかけても集まらず、進展していない。“団塊の世代”の言葉を使用するとしらけるとの懸念に対して、小金井市からはそのようなことはないと言った。 | | | | |

- ・ 全般的に、なかなか集まらないとの意見が多い。65歳まではまだまだ働きたい、働く必要がある。長い間組織で働き、リタイアしてすぐ組織に入ることに負担を感じるなどの理由が考えられる。行政が強くかかわるより自発性が大事だ。
- ・ 夫婦で参加するケースが少ない。
- ・ リタイア直後にいきなり地域デビューは難しい。地域に出てきてもらうには、早い時期から夫婦で地域参加するなどの方法がある。
- ・ 自発的に活動することが社会活動であり、それが社会教育の本質ではないか。

(2) 第44回東京都公民館研究大会について

(中嶋公民館長)

東京都公民館連絡協議会主催による公民館研究大会の事務局市として、小金井市が本年度開催をすることとなり、これまで加盟各市の関係者、公民館運営審議会の委員、本市の企画実行委員、職員による企画委員会を6回、課題別集会毎の検討、東京都公民館連絡協議会の各部会で調整を重ね、開催要項と申込書を配付しました。

[参考資料:「第44回東京都公民館研究大会開催要項」及び「(同大会)申込書」参照]

教育委員会各課からの協力を得て、全大会は極力簡潔に、研修に重点を置き、課題別集会は小金井第二中学校と公民館本館の2箇所ですべて8課題別集会を実施します。

また、全大会には教育委員会委員全員の出席と課題別集会には教育委員3人の申し込みを頂きました。

全大会後、課題別集会に分かれる前に研修の一環として、小金井公園内「江戸東京たてもの園」の招待券を配付する予定です。併せて、小金井市はげの森美術館を知って頂くように参加者に招待券を配付しますが、中村研一回顧展の期限が11月26日迄ですので、既に加盟各市に送付し配付を依頼しております。

なお、研究大会への申込みは10月末日迄にお申込みください。

(3) その他

ア. 体育の日の事業について

(林体育課長)

10月9日の体育の日に次の2事業について報告します。

① 市民スポーツレクリエーションの集い

綱引き大会が小学3年生以下、4～6年生、一般男子、一般女子の各部門、計34チームにて競技が行なわれ、選手・役員499人の参加がありました。なお、綱引き大会ですと中高齢者が参加しにくい状況がありますので、来年からは誰でも参加できる種目にする予定です。

② 体育施設無料開放事業

昨年度から実施しておりますが、利用人数は総合体育館710人、栗山公園健康運動センター215人、上水公園運動施設53人、市テニスコート32人でした。

なお、上水公園運動施設はもともと無料施設であり、来年度からは除外する予定です。

イ. 公民館企画実行委員について

(中嶋公民館長)

第19期公民館企画実行委員の名簿を配付しました。全館各6人体制ですが、本館の1人が一身上の都合により退任されました。

ウ. 第5ブロック研修会におけるシニアの地域参加に関連して質問

(社会教育委員)

小金井市の事例では先進的な取り組みをしているとのことだが、参加者のフォローアップについて具体的な取り組みがあれば教えて頂きたい。

(伊藤生涯学習課課長補佐)

メーリングリストなどを設け、その後の動向や集会の案内などしております。組織化については、自主的に集まって来られることが望ましいことから、一定情報を提供し、参加して頂ける方は積極的に参加して頂く方向で考えております。

(石川教育部次長)

各市とも課題が多く、参加される方が少ない。NPO団体との交流を高める中で、次のステップに進む方向を検討したい。

(中嶋公民館長)

公民館講座から、最終的には自主グループ化して頂き、自分達が地域等について取り組んで頂くことを主としています。団塊の世代については、現役組、完全リタイア組、セミリタイア組があります。セミリタイアの方は、65歳の年金支給があるまでとか、元気で働く意欲のある方々です。組織で働いてきた人が集まり、起業へ結びつく場合もあり、魅力ある、ニーズに応じた情報提供をすることがひとつの方法かと思います。農業体験講座のような提案型になるのか、課題別になるのか等、今後検討したい。各市とも暗中模索している段階だと思います。

2. 協議事項

(1) 管外視察研修について

ア. 管外視察研修の日程について

(木村生涯学習係主事)

〔平成18年11月28日(火)の管外視察研修の日程につき説明があった。詳細は別紙「平成18年度管外視察研修について」を参照〕

イ. 視察先の出席者等について(予定)。

(木村生涯学習係主事)

菅生中学校区出席者 : 金井校長、生駒事務局長、芝原議長、中村委員
臨港中学校区出席者 : 内本教頭、宮越事務局長

ロ. 視察側の出席者について

(石川教育部次長)

私と谷垣教育長、教育部長、指導室長が出席の予定です。

ハ. 川崎市への想定質問について

(石川教育部次長)

以下の地域教育会議に関する質問事項を予定し、提示してあります。

- ① どのような背景があつてつくられたか？
- ② どのような手順で作られたか？
- ③ 当初、どのような人に呼びかけたか？また、どのような人が実際に参加しているか？
- ④ 地域教育会議がつくられる過程での教育委員会の役割は？
- ⑤ 地域教育会議に対する予算及び運用について
- ⑥ 地域教育会議を運用できている理由
- ⑦ 地域教育会議の成果と今後の課題

(社会教育委員)

具体的活動についての質問項目も設けたい。

(2) その他

ア. 小委員会について

(伊藤生涯学習課長補佐)

勉強会としての位置づけで結構です。

イ. 社会教育あるいは地域教育会議について

(社会教育委員)

- ・ 検討すべき対象の幅が広すぎて漠然としがちである。
何か小さくても一つ実績を作り、それから広げる方法も良いのではないか。
- ・ 川崎市では地域教育会議が継続されている、今回の管外視察研修で何らかの糸口がつかめるのではないか。
- ・ 学校とのすみ分けが必要である。
- ・ 小金井市の学校は企業戦士を育てるのでなく、小金井のよき市民を育てて欲しい。

以上